

福岡縣下に於ける第十四回メーデーの狀況

概要

今回のメーデーに當り本縣下に於ける無産団体其他の活動狀況を概観すれば、例年活潑なる運動を行ひ來つた當地方の中心勢力とも謂ふべき、八幡市所在各労働組合では、週々當日同市の市會議員選舉開票日に相當したる爲遂に何等の活動をも見られなかつたが、他方小倉市に於ては總同盟九州聯合會主催の下に四〇〇余名、全農福岡縣聯合會主催の下に三〇〇余名參加し且つ門司市に於ける九州労働組合會議の主催には八〇〇余名の參加者があつてやゝ氣勢を揚げた。

之に對して反動的國家主義団体側には、メーデーを以つて亡國運動なりとし反對檄文を散布し、或は大日本護國軍や大統社塾等に於ける尖鋭分子の直接行動に依る妨害運動があり

亦一方に於ては最左翼団体の策動が行はれた。即ち各地の狀況左の通である。

a、門司市

門司市に於ては小倉より製網労働小倉支部、及び小倉仲仕労働組合の参加を得て八団体約八百名同市老松公園に集し九聯主事久保時造總指揮の下に宣言並に決議文を朗讀後十隊（内一隊は婦人部）に編成し、各隊毎に一旗の長旗を掲げメーデー歌を高唱しつゝ示威運動を行ひたるも極めて平穩にして一名の檢束者も出さなかつたのであるが、時局柄反動団体の尖鋭分子数名が宣言朗讀中之を妨害せんとしたると共に少數のピラを散布したるのと行進中三ヶ所にて各々三四名の者が先頭前衛隊に衝突して進行を阻害せんとしたる外事なく豫定のコースを終れり。